

編集/コンビニの会事務局
連絡先/〒452-0822 名古屋市西区中小田井 2-431
TEL/FAX(052)505-6082(コンビニハウス)

障害をもつ人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人
コンビニの会

定価/150円
昭和54年8月1日第三種郵便物承認

第134号



オアシス吐魯番の夕暮れは美しい

「吐魯番の夕暮れ」

旅の景色の中で…

自然写真家 河嶋 秀直

中国の西域を旅したことがある。

大きなタクラマカン砂漠を囲むようにオアシスがあり、それを繋いでシルクロード「絹の道」が遠くローマまで延びている。

僕が訪れたオアシスのひとつ、トルファン「吐魯番」は昔から交易の要所で、幾つかの城が築かれたが、その城も今は土くれに還って静かな時を過ごしている。

オアシスは、土煙を上げる細い道がほとんどなので小さなドンキー馬車が荷役を一手に引き受けている。

そのドンキー馬車に乗せて貰ったが、歩くよりも少しだけ早く、道の凸凹に合わせて揺れる荷台に、昔の日本にあった未舗装の道を思い出して懐かしくなった。

道の脇に並べられている日干し煉瓦は、一日も経たずに乾燥し、次々と使われていく。オアシス吐魯番の夕景は美しい。

(次頁へ)

水路の脇に植えられた木々の間から漏れる夕陽が、辺り一面を光と陰で彩り、ミレーの「晩鐘」の絵を彷彿させる。その景色を眺めていると、遙か昔、交易が盛んだった頃のシルクロードにいるかのような錯覚に陥る。

オアシスに生きるウイグル族は、敬虔なイスラム教徒で歌と踊りの大好きな民族。

夜の帳が下りると、何処からともなく音楽が掛かり、それに合わせて踊り出す人々。

満点の星空の下、人々は夜が更けるのも忘れて踊り続けた。

ある時、モスクにいた老人と話しているとお祈りが始まる時間となった。

「お祈りが始まる、さあモスクの外に出なさい」と静かに語った言葉が今も耳の底に残っている。



ウイグル族の老人

雑記
ごまめの歯ざしり

夢のパイヤ

今年の夏は早くからの猛暑で軒並み40度近くまで上がる日が続いた。畑に出るのも気を入れないといけないぐらいで、毎日汗だくで、昼には川へ体を冷やしに行ってた。ただ畑は待つてくれるはずもなく、日々やることはどんどん湧いてくる。しかも雨がな。

お陰でこの夏は就農してはじめて、出荷をお休みする事態にまでなった。が、ここへきてようやくやく雨が降り出し、野菜も少しずつ回復してきたので安心。

そう言えば、今年は春もソラマメの採れ出しが、10日ほど早く、その後夏野菜の定植も前倒しできるくらいに温かい気候で、普段から日付を種まきや収穫の目安にしているものが、全て早まっている。

その流れで、秋の訪れも少し早いのか例年より2週間ほど早くキャベツや白菜の苗を植えられる天気となった。

先日、ラジオから「今年の冬は暖冬」というのが聞こえてきた。

去年は秋が寒く冬が早かった気もするけど…考えるといつタネをまけばいいのかわからなくなってくる。

温暖化や異常気象が頻発してるけど、地球もそういう時もあるだろうに。

この夏、はじめてパイヤの実がついた。秋までに熟すか楽しみだ。

南インドの原っぱで食べた完熟パイヤ。この地でもあんな美味しい実をたくさん食べられる日が来るのか、今から待ち遠しい。

コンビニハウスの原点

エゼル福祉会 現場統括主任

榊原 芳典

定期的に会報をお読み頂いている方は、この数年のエゼル福祉会、とりわけ生活支援部コンビニハウスについてどのような印象をもたれているでしょうか。

職員の退職や、管理職の力不足による失敗のなか、以前から継続してきた事業は少しずつ改善、安定してきましたが、まだ十分な支援を行えていない方（障害者）がおり、新規の支援申し込みを受けられない等、現状維持で精一杯の状態になっていました。

「昔のコンビニハウスは違った、もつと力になってくれた」、「以前は新しいことにどんどん挑戦していたのに、何年も足踏みしている」と、コンビニハウスを知る人から言われたこともありました。自分も学生の時、そう

したコンビニハウスの職員の姿に憧れていたのに、「あなたのせいでコンビニハウスは変わった」と言われているようで辛かったです。

退職者が続いたり、学生ヘルパーが減っていくなかで、自分でも何をするのが最善かわからず、とにかく前任者たちがつくりあげてきたものを壊さないよう守らなくてはと必死で、挑戦とは真逆の方針をとってきたと思います。

しかし、一人の女性管理職が、自身が苦しい中でも、障害のある女性の一人暮らしを新しく実現させた姿を見て、整わない現状を言い訳にしている自分がいたのではないかと考えさせられました。

また、一緒に働く男性職員たちが成長し、これまで任せてこなかった仕事にも挑戦できるようになってきました。今なら一緒に、障害のある男性の支援を、微量でも新しく始めていけるのではないかと思いい、今年4月から通所施設ウィルに通うようになったお二

人に声をかけ、ショートステイを行いました。久しぶりに新規の方の介助にあたるため、親御さんに家での様子など詳しく聞かせてもらい、通所施設でも介助方法を学びました。それでも一晩安全に楽しく過ごしてもらえるだろうかと不安でしたが、本人さんたちは、人からだを預けることに馴れているという印象で、介助者が自然に「ありがとね」と言える時間を過ごさせてもらいました。

そのとき、自分が初めてコンビニハウスに来た頃のことを思い出しました。

苦しくないかな、楽しめているかな、また来たいて思ってもらえるかな、そんなことを考えながら介助方法を考えたり、食べる物や外出先を相談したり、そういった心地よい緊張感がありました。相手の反応から、上手いと思ったとき、いまいちだったとき、たくさん経験を通して今の自分があるのだと感じました。

コンビニハウスの原点はレス・バイト事業（介助者の休息）でしたが、介助者（主にお

石原優樹さん 保護者

石原 雅織

四月より、ウイルさんにお世話になっていきます石原優樹です。

生まれた直後から長男の赤ちゃんの頃と違い、おっぱいを欲しがることなく寝てばかりでおとなしく、おかしい、おかしいと思っ
ていましたが、この子の性格なんだと言われて
ていました。

心房中隔欠損症、鼻咽腔閉鎖不全（耳の聞こえが悪く、ミルクを鼻から逆流させていた）、停留嚥丸、アレルギー体質で喘息など
体のあちこちに悪いところが見つかり、生後
10か月に甲状腺機能低下症と診断され、よ
うやく元気がない原因がわかりました。治療
するうちに首が座り、表情も豊かになって来
ました。

療育センターでは食べる事の楽しさやた
くさんの人との関わりがありました。バスで
通園させてもらったり、特別支援学校に入学

してからは腹筋を鍛えたことで、今では起き
上がりもできるようになりました。

自力では歩くことは出来ませんが、お尻を
ずりずりして部屋中を動き回ることが出来
ます。車いすでの自走も上手なのですが、通
所施設は学校とは違って広いスペースがな
いので今はなかなか披露できず残念です。

ウイルさんの優しい雰囲気が入り、こ
こならこの先優樹をお願いしたいと思い、入
れていただきました。新しい環境に慣れるの
に時間がかかりましたが、今では楽しく過ご
しています。

これまで用事があると入所施設のショ
トステイを利用してきました。大勢の入所者
の中に大きな柵のついたベッドに入れられ、
可哀そうで親としてはとても辛かったです。

優樹は、人が好きで所かまわず人の手を
触ってしまいます。かまってもらえないと自
傷で自分の顔を殴ったりして、過去にはシ
ョート先の職員さんが気づくのが遅れ、顔面
鼻血で血まみれになって、夜に連絡をもらっ

た事もあります。

エゼル福祉会の生活支援部をご紹介頂い
てショートステイを組んで頂き、お試しに高
嶋君と二人でお泊りをしました。送迎から夕
飯の買い出し、お風呂に入れてもらいと、ア
ットホームな雰囲気で過ごせました。夜
は新しい場所に慣れないせいか遅くまで眠
れなかったようです。今後は少しずつ慣れて
いけるようにお願いしたいです。

そして、もう少し先の将来にも安心して過
ごせるように期待しております。よろしくお
願いします。



石原 優樹さん

WILL 納涼祭

通所部 麻生 早紀



猛暑と呼ぶにふさわしく体温を超えるような気温が続いていた今年の夏。せっかくなので「夏を楽しもう!」と8月10日にWILL納涼祭を行いました。納涼祭では午前中に流しそうめん、午後にスイカ割りという夏らしいイベントをみんなで楽しみました。

☆ 流しそうめん ☆

朝、仲間達がWILLに出勤すると、食堂に全長5メートルほどの流しそうめんの台が出来上がっています。目新しい大きな台にワクワクし、小さく拍手するOさん、職員達の力作に感心するように眺めるNさん、仲間

も職員も自然と期待いっぱいなのニコニコとした面持ちで台を囲んでいました。

皆が揃ったところで5人ずつグループに別れ、流しそうめんが始まります。直径40cm程の大きなボウルには給食室で茹でてもらったそうめんがたつぷり。おまけに可愛いアヒルのおもちやも10匹程。みんなの注目を浴びながらそうめんとアヒルがゆつたりと流れていきます。麺類が少し苦手なSさんも台を前にお椀と箸を持って、そうめんをしっかりと取り上げている一方で、そうめんよりもアヒルのおもちやを集めるのに夢中になり、車イスのテーブルをアヒルだらけにするTさん、職員のサポートを受けながらフォークを握り、そうめんをすくい上げていく車イスの仲間達、「オイシー」とそうめんをほおぼるMさんなど、皆思い思いに流しそうめんを楽しんでいました。箸やフォークを上手に使い素麺やアヒルを持ち上げる度に周りから歓声が上がる大盛況の中、大きなボウルいっぱいなのそうめんも皆の胃袋へ消え、流



そうめん、まだかな～(^u^)



いっぱいすくえた～♪♪

しそうめんは終了となりました。

☆「頑張れ〜」スイカ割り ☆

昼休憩をはさみ、午後はスイカ割りです。今度は食堂にバスケットボール程の大きなスイカが登場しました。デモンストレーションにはKさんが立候補してくれ、目隠しをしても分かるほどの満面の笑みでスイカにバッドを振り下ろしてくれました。バッド＝野球と連想したためか、野球のスイングの様にスイカを狙うAさん、日頃のストレス？を発散するかのように6発もスイカをバシバシ叩くIさん、スイカを割るぞ!!と気合十分でスタンバイするHさんなど、午前に負けず劣らずスイカ割りも盛り上がっています。そのような中、楽しい輪の中に入りたけれど恥ずかしさや気持ちの落ち込みから一歩踏み出せず困っているYさんがいました。次はYさんどうですか？と司会から声を掛けられるもうずくまってしまうYさん。すると、どこからか「Yさん頑張れ〜」の声がかかります。その声はだんだん増え、皆の声援に背中を押されYさんはスイカ割りへと向

かうことができました。



誰がスイカを割ったのかな???

WILLLに集まる人達は障害も性格も趣味も嗜好も様々で、時には相容れない事もあります。それでも「悲しい」や「寂しい」や「不安」を心配し合える大切な仲間だからこ

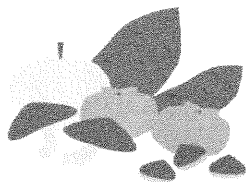
そ一緒に「楽しい」や「嬉しい」や「ありがとう」を共有していきたいという温かさがあって、それがWILLLらしさなのではないかと感じています。納涼祭を通じ、そんなWILLLの温かさに触れ、心癒されたのはYさんだけではなかったと思います。

実は、この納涼祭は仲間と職員の「流しそうめんしたいね〜」「スイカ割りも面白そう!」という雑談から企画が始まりました。職員が発案し、おおよそのベースを作った後に仲間を巻き込んでいく形を取っていたこれまでのイベントとは違い、仲間からの発信でWILLL全体を巻き込んでいく今までにないものでした。これまでの経験が仲間の中にも蓄積され、楽しい事を通して自分の思いを発信し、それを皆で共有していくという新たな力を発見したような気分です。これからもWILLLの中でたくさん刺激を受け、経験を重ねていく中で見つけた彼らの新たな可能性を見守ることが出来たらと願う1日でした。

《活動状況》

7月

- 1日 ヘルパー学習会
 1日 施設建設地域説明会
 (榊原・寺澤・野村・大西)
 10日 名古屋市法人集団指導
 10日 個別支援計画作成研修 (寺澤)
 11日 歌里工事入札
 13日 理事会
 15日 心理士メンタルヘルス面談
 14.15日 グループホーム学会研修 (山下)
 16日 W I L L 夏祭り
 18日 マナー研修 (馬淵)
 19日 新施設設立委員会
 20日 事業所連絡会学習会 (榊原)
 20日 きょうされん東京 (原・佐藤)
 24日 会報発送
 26日 W I L L 親の会
 29日 施設建設地域説明会
 (榊原・寺澤・野村・大西)



8月

- 1日 会報会議
 1日 安全運転管理者講習 (寺澤)
 3日 障害福祉制度研修 (水野・山下)
 4日 同朋大学企業展 (溝口)
 4日 中小田井学区盆踊り設営 (馬淵)
 5日 W I L L 歌里起工式
 5日 ヘルパー学習会
 6日 記録の基本と体制 研修 (北島)
 7日 事業所連絡会会議 (榊原)
 7日 歌里地域住民挨拶まわり
 7日 介護リダーの為のミーティング 研修 (大西)
 9日 理事会
 10日 スーパーゼーション研修 (寺澤)
 17日 心理士メンタルヘルス面談
 20日 救命研修 (大西)
 20日 きょうされん会議 (佐藤)
 21日 名古屋特別支援学校連絡会 (大西)
 22.23日 きょうされん利用者部会 (佐藤)
 29-31日 しおかぜ作業所研修 (佐藤)
 31日 介護記録研修 (馬淵)



コンビニハウス クリスマス会のお知らせ

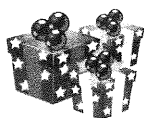
毎年恒例のクリスマス会を下記の通り開催いたします。
 皆様からのお申し込みをお待ちしています。

日時 2018年12月2日(日) 13:00 開演予定
 会場 西区役所 講堂
 〒451-8508 名古屋市西区花の木二丁目18番1号
 (地下鉄鶴舞線浄心駅より徒歩5分)

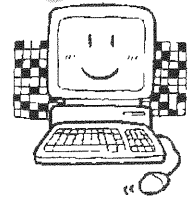
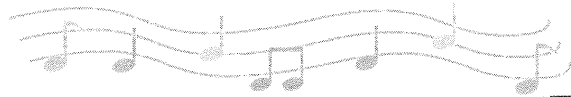
定員 80名 (定員になり次第、締め切ります)
 参加費 600円 (チケット代)
 プログラム : バンド演奏・お楽しみ抽選会 他

参加申し込みはコンビニハウスまでお願いします。

連絡先 : 電話 / FAX 052-505-6082



事務局コーナー



「ご協力ありがとうございました」

7月～8月（敬称略・順不同）

★ ご寄付いただいた方々

(新施設WILL歌里)

朝比奈幸生 山田肥名子
特定非営利活動法人 友の家

(NPO 法人コンビニの会)

※会報購読料1万円以上お振込みの方

I・S 矢崎正一

★ 物品寄付をいただいた方々

(コンビニハウス)

塩澤しのか 石原まち 棚瀬さおり

辻本道子 若松泰宏

(WILL)

浅井宏紀 石原優樹

竹内まりや 水野裕哉

★ 活動にご協力いただいた方々

(コンビニハウス)

石原正寅 青木政治 土田京加

辻本道子 黒田隆広 林 和子

高塚朱美 藤本菜見 大森 信

楠村ゆき 石原まち 寺西 剛

奥村 修 星野恭兵 鈴木千春

伊藤翔磨 松本浩希 鬼頭優菜

堀田若菜 村上梨央 酒井まみ子

茂手木利典 藤本由紀子

(WILL)

須田たみ子

★ 会報発送ボランティア

佐藤美紀子 吉田嘉子

丹羽正子



～ 新施設 W I L L 歌里 近況報告 ～

新施設の土地を西区歌里町に確保した以降、歌里町の住民の方向けに施設建設地域説明会を2回開催しました。

■ 第1回施設建設地域説明会 ■

日時：平成30年7月1日（日）10：00～

場所：大野木コミュニティーセンター

■ 第2回施設建設地域説明会 ■

日時：平成30年7月29日（日）10：00～

場所：大野木コミュニティーセンター

第1回は理事の市岡氏が司会をし、理事長の大川や職員がエゼル福祉会の紹介をしました。設計事務所から建物の説明があり、最後に地域住民の方から質問がありました。第2回は第1回で質問があった内容を、設計事務所と入札で決定した施設建設工事会社から回答させていただきました。

■ 第1回施設建設地域説明会の様子 ■



■ 第2回施設建設地域説明会の様子 ■



■ WILL 歌里新築工事 入札 ■

施設建設工事会社入札を理事長、評議員、理事、監事、名古屋市立ち合いのもと
決定しました。

日時：平成30年7月11日（水）11：00～

場所：エゼル福祉会 研修室

入札申込件数：4件（うち1件辞退）

入札参加件数：3件

入札決定会社：滝藤建設株式会社

入札決定金額：249,413,000円



■ 起工式 ■

日時：平成30年8月5日（日）14：00～

場所：名古屋市西区歌里町147番

気温39度の中、名古屋聖書バプテスト教会の牧師様と聖歌隊（合計22名）、エゼル役員（6名）、カメラマン（長谷川様）、利用者さん（5名）、利用者親御さん（2名）、建設関係（4名）、利用者他事業所（2名）、エゼル職員（9名）総勢51名で行われました。



上田牧師からは「エゼル」という名前の深い意味が語られました



工事関係者の皆様の健康が守られ、安全な工事が進められますように…と理事長のあいさつ



聖歌隊の美しい歌声が響きました



【銀行口座】三菱UFJ銀行 小田井支店 店番238（普）口座番号 1440108

特定非営利活動法人 コンビニの会

【郵便振替口座】番号 00800-2-35190 コンビニの会

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。

障害のある人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

〒452-0822 名古屋市西区中小田井2-431

コンビニハウス Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082

URL <http://ezeru.sakura.ne.jp/>

E-mail convini@beach.ocn.ne.jp

コンビニの会

理事 宮川 優子